

金國璞北京語会話教科書における“叫”構文の使用  
——《儿女英雄傳》との比較

The Usage of the *Jiao* construction in Jin Guopu's Beijing Dialect Textbooks  
—Comparing with *Ernü Yingxiong Zhuan*

楊璇

YANG Xuan

要旨：“叫”是现代汉语中使役兼表被动或处置句式的重要语法标记之一。同时也是北京话中常用的特殊句式。本文按照语义类型将明治时期金国璞所著11部北京话教科书和清代满族文学家文康创作的武侠小说《儿女英雄传》中出现的“叫”字句进行分类和数量统计，通过对比研究两个语料中“叫”字句在各种语义下的使用情况，归纳总结二者使用上的异同。

キーワード：“叫”構文、使役表現、受身表現、比較対照

目次

- 1 はじめに
- 2 “叫”構文の使役表現
  - 2.1 指示使役文
  - 2.2 誘発使役文
  - 2.3 許容使役文
- 3 “叫”構文の受身表現
- 4 まとめ

1 はじめに

金國璞（字卓菴、北京出身、生没年不詳）は1897年高等商業学校附属東京外国語学校の開校に伴い、北京語講師として日本文部省により招聘され、日本で6年間勤務した。明治36年（1903）同校講師を辞して帰国した。本論文は、金氏が編纂した11冊の北京語教科書を中心に、教科書中に用いられている

“叫”構文に焦点を置き、その使用状況を考察する。さらに、成書時期が近く、かつ北京語で書かれた白話小説《兒女英雄傳》との比較対照を行い、両著の言語差異を突き止めるのが主旨である。<sup>2</sup> 本論文の分析方法として、木村英樹の「中国語ヴォイスの構造化とカテゴリ化」(2000)で提示された指示使役文、誘発使役文、許容使役文という使役文の3分類を基準とし、関連の表現は以下となる。

「指示使役文とは、主語に立つ人物Xが人物Yに、動作・行為Vを遂行させようとしむける事態を述べる構文であり、放任使役文とは、人物Yが動作・行為Vを遂行することを人物Xが許容する、ないしは放任するという構文である」(木村, 2000: 20)。

「誘発使役文は、Yに何らかの状態または変化が生じる状況をXが誘発するという事態を述べる構文であり、…指示使役文や放任使役文が意志的な動作を意味する表現、すなわち<スル>の表現な述語にとるのとは対照的に、誘発使役文は無意識的な状態や変化を意味する表現、すなわち<スル>の表現を述語にとることを特徴とする」(木村, 2000: 22)。

## 2 “叫”構文の使役表現

“叫”を用いる使役文の分類について、朱德熙《语法讲义》(2009: 179)は“致使”“听任”“容许”の3つに分類する。丁樹生《现代汉语语法讲话》(1961: 100)は“‘教’字和‘讓’字都有‘被’‘允許或听任’‘使’三个意思。”と指摘した。郭姝慧の博士論文(現代汉语致使句研究)(2004: 50)は“‘使令’重在行为, 是作出指示和命令, 只有生命度高的人或由人组成的团体机构才有可能作出指令。…‘致使’重在结果, 是由于某种原因而是的产生某种结果。引起‘致使’结果的原因可以是具体的, 也可是抽象的, 可以是个体, 也可以是事件, 致使成分十分复杂。”と論述し、“使令”と“致使”の語彙の範疇を明確にした。卢小群《老北京土话语法研究》(2017: 465)は“表致使义的叫教字句又可以细分为使令义、致使义、容许义和任凭义几种。”と論述している。

金氏教科書において、“叫”を使役表現として用いている例は、全部で473例見られる。そこで木村英樹(2000)を基準とし、上述した分類を参考に、金氏教科書における“叫”使役文の使用状況と合わせ、指示使役文・許容使役文・誘発使役文の3分類に分け、考察を行う。

### 2.1 指示使役文

指示使役文は“A+叫+B+VP”の構文で、主語に立つ使役者Aが被使役者Bに動作・行為VPを遂行させようとしむける事態を述べる構文である。

金氏教科書において、“叫”を指示使役文に用いる用例は、全部で368例見られる。

#### ① 使役者Aの構成

##### a. 人称代名詞

金氏: 例1.這麼着他就叫陳顏支成, 把禮物擺在桌子上了。(《今古》李沂公)<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 金氏教科書において、“叫”は“叫”とも書く。

<sup>2</sup> 本論文は北京語言大学中国語コーパス(BBC)を使用し、《兒女英雄傳》に関するデータを統計した。

<sup>3</sup> 金氏教科書における例文を引用する際に、《談論》、《便覽》、《公牘》、《華言》、《炕頭》、《今古》、《摺紳》、《撮要》と略称する。章数(《公牘》は件数)はローマ数字で表記する。《北京官話: 今古奇觀》に章数がないため、各物語の題目“李沂公”、“十三郎”、“沈小巖”、“懷私怨”で表記する。

例 2.您叫夥計們先回去罷。（《談論》-15）

《兒女》：例 3.这是他来的那年，我叫了个瞎生给他算命。

例 4.长姐姐，你叫他们倒罢。

b. 名詞

金氏：例 5.賈石也叫他家裏的人出來，把沈太太迎接裏頭去安置。（《今古》沈小霞）

例 6.老爺叫我辦這個事，我不敢不遵。（《今古》李沂公）

《兒女》：例 7. 例 18.安老爺便叫他看个吉日，先请安陞辞。

例 8.谁想那些盜伙一见他的头领吃亏，十三妹定要叫他戴花擦粉。

c. 名詞フレーズ

金氏：例 9.小的的主人就叫小的出去了。（《華言》-27）

例 10.我們家兄就叫那兩衙役，進那個棚子裡去。（《華言》-23）

《兒女》：例 11.我夫妻就当面叫玉格在上屋给他行个礼，倒显得是一番亲近恭敬之意。

例 12.那时候你家老太太连忙叫人给我收拾。

d. 主語+述語

金氏：例 13.我努嘴兒是叫他拿開那個東西，他沒瞧見。（《撮要》-3）

例 14.那麼我若是有甚麼事情叫夥計們辦，總得告訴他們掌櫃的好罷。（《談論》-15）

e. 動詞+目的語

金氏：例 15.有人叫他遞一個稟帖。（《便覽》-28）

《兒女》：例 16.我只愁他这位夫人，倘然有别人叫他陪酒，他可去不去呢？

f. 使役者 A の省略

金氏：例 17.新近聽說，有人出了這麼一個主意，叫願意包辦的這幾個公司。（《指南》-18）

例 18.臨走的時候兒我擱在桌子上了，叫你拿著你没聽見麼。（《虎頭》）

《兒女》：例 19.答应一声，只叫他那孩子送了水壶来。

例 20.那就巧极了，牲口也有了，就叫你们姑爷骑上，跟着一伙同行。

② 被使役者 B の構成

a. 人称代名詞

金氏：例 21.只可買付船家，叫他趁著夜靜的時候，把屍首埋了。（《今古》懷私怨）

例 22.主人叫我給你這一錠銀子，不叫你外頭告訴人說。（《華言》-27）

《兒女》：例 23.都怪香儿的么，叫我丢下那件子呢？

例 24.你就叫我看篇文章，也得先有个题目。

b. 名詞

金氏：例 25.賈石也叫妻子出來見禮。（《今古》沈小霞）

例 26.暗中叫將官把避難的良民殺了些個。（《今古》沈小霞）

《兒女》：例 27.正是，我也想到这里，才叫柳条儿瞧去了，也来不了了。

例 28. 这两桩事都不用老爷费心，公馆我已经叫晋升找下了。

c. 名詞フレーズ

金氏：例 29. 這麼着我們家兄就叫那兩個打更的回去了。（《華言》-23）

例 30. 吃完了早飯就叫一個底下人把衙門裏的一匹驢備好了。（《華言》-24）

《兒女》：例 31. 叫我們親家評一評，咱們倆到底誰比誰大？

例 32. 那麼着，我就在家里服侍婆婆，叫我妹妹跟了他去。

d. 定語+中心語

金氏：例 33. 有人出了這麼一個主意，叫願意包辦的這幾個公司各遞一個單字。（《指南》-18）

e. 被使役 B の省略

金氏：例 34. 知縣就叫站住了轎子。（《華言》-25）

例 35. 被那地方稅局子，把船扣下了，一定叫上稅。（《公牘》-34）

《兒女》：例 36. 临走又怎的千叮万嘱，叫務必等他见面然后动身。

例 37. 这个当儿，又听老爷叫取师老爷的烟袋荷包去。

表 1 指示使役文における使役者 A と被使役者 B の構成状況

作品	使役者	非省略						省略	合計
		名詞	名詞フレーズ	人称代名詞	主+述	動+目	定+中		
金氏	使役者 A	58	12	21	4	1	0	272	368
	被使役者 B	145	52	164	0	0	1	6	
《兒女》	使役者 A	52	23	53	1	2	0	308	439
	被使役者 B	172	58	179	0	0	0	30	

《兒女英雄傳》において、被使役者 B が人称代名詞“他”、名詞“人”となる用例がそれぞれ 155 例、72 例あり、両方合わせて全用例数の 5 割を占める。また、金氏教科書において“叫他”、“叫人”の用例数がそれぞれ 131 例、16 例あり、全用例数のほぼ 4 割を占める。

金氏教科書において、使役者 A を省略した用例が 272 例で、全体の 7 割を占めるが、その理由は会話教科書の性質が関係していると思われる。金氏教科書、特に会話をメインとする教科書は主に当事者間の会話の記録であり、会話中で人々は言葉の経済性を求めるため、使役者 A が省略されることが多いと言える。

使役者 A が非省略の場合は、最も多いのが名詞を用いている用例であり、全体の 15.7% を占める。使役者 A を省略した用例が 272 例あることに対して、使役者 B を省略した用例は僅か 6 例である。そして非省略の用例は 362 例あり、全体の 9 割以上を占める。その中で、定語+中心語の用例は 1 例しか見当たらない。名詞フレーズの用例は二番目に少なく、全体の 14.1% を占める。名詞と人称代名詞の用例が全体の 4 割ほどを占める。

指示使役文における使役者 A について、郭姝慧 (2004 : 50) は“只有生命度高的人或由人组成的团体机构才有可能作出指令。”と記述している。金氏教科書において、下記の 1 例のみの他は、全て人を表す名詞である。

例 38. 朝廷叫各省督撫查明情形覆奏。 (《談論》-38)

また、使役者 A の指示を実行する被使役者 B も“生命度高的人或由人组成的团体机构”でなければならぬ。金氏教科書において、下記の 5 例の他は、全て人を表すものである。

例 39. 是叫那個公司辦好呢。 (《指南》-18)

例 40. 說完了就叫店裡傳藍貴去了。 (《華言》-29)

例 41. 又轉叫隆興木廠子包蓋的事。 (《談論》-78)

例 42. 只有櫃裏頭拐櫃外頭的, 別叫櫃外頭拐櫃裏頭的。 (《虎頭》)

例 43. 到了那兒, 就快叫車回來, 別誤了我的事。 (《便覽》-87)

上記の用例では、例文 38.~42. の使役者 A あるいは被使役者 B は、“朝廷”、“那個公司”、“興隆木廠子”など命のない物だが、どちらも“~に属する人”を指すため、生命度のある物とすべきである。また、例文 43. の被使役者 B が“車”であるが、“人に車を帰らせる”と解釈すべきだろう。即ち、例文 43. の被使役者 B も生命度のある物とすべきである。

### ③ 述語 VP の構成

#### a. 動詞

金氏 : 例 44. 他媳婦兒攔他不叫他去。 (《華言》-17)

例 45. 那小妾聞氏太年輕, 可以叫他改嫁。 (《今古》沈小霞)

《兒女》: 例 46. 坐下又思索了半天, 便叫梁材、华忠两个來。

例 47. 只是不得父亲的话, 不好就定。还叫儿子请示。

#### b. 動詞+目的語

金氏 : 例 48. 指出一段洋字的新聞紙來, 叫他們講解意思。 (《播紳》-36)

例 49. 王太眼看着眾小牢子, 叫眾囚犯上囚床。 (《今古》李沂公)

《兒女》: 例 50. 我也不吃潮烟, 我就不会吃烟, 我也没叫你装烟, 想是你听错了。

例 51. 便派人跟了公子, 叫他穿上孝服, 向十里外迎接何太太的灵。

#### c. 動詞+補語

金氏 : 例 52. 趕緊的叫跟着的人都站住了。 (《今古》李沂公)

例 53. 昨天都是個極力的攙掇, 叫他進城來。 (《今古》沈小霞)

《兒女》: 例 54. 我那里有给媳婦包下的馄饨, 里头单弄的菜, 回来叫人送过来。

例 55. 金、玉姊妹两个见了, 满心欢喜, 便叫他站起来, 带他给老爷、太太磕了头。

#### d. 連動文

金氏 : 56. 房子漏了, 夥計們叫他拿錢收拾, 他也不管。 (《華言》-30)

例 57. 賈石也叫妻子出來見禮。(《今古》沈小韻)

《兒女》：例 58. 便告诉褚大娘子叫个人进去道喜。

例 59. 说着便站起来，叫人拿了灯到西屋里去。

e. 状語+中心語

金氏：例 60. 萬不可以叫他們隨便在外散居。(《晉紳》-36)

例 61. 倘或他辦事有不合體的時候兒，叫我務必的要規勸的。(《晉紳》-4)

《兒女》：例 62. 那头乌云盖雪的驴儿便交给华忠，叫他好生喂养。

例 63. 亲家，可叫他多吃点儿，闹了这半天了。

f. 「把」構文

金氏：例 64. 我們老爺現在是有點兒緊用項，叫我們把这箱子皮衣服拿來當幾個錢。(《虎頭》)

例 65. 暗中叫將官把避難的良民殺了些個。(《今古》沈小韻)

《兒女》：例 66. 便同先生來到箭道，叫了许多家丁把些兵器搬來。

例 67. 珍姑娘接着就说：“那么说，还得叫他们把数珠儿袜子带上呢。”

g. 「給」構文

金氏：例 68. 叫禁子給他上了刑具。(《今古》懷私怨)

例 69. 可以叫夥計給您預備飯罷。(《談論》-14)

《兒女》：例 70. 烦你叫他们给我拿进来，我给他几个酒钱。

例 71. 只是我得张罗姐姐去了，你叫嬷嬷给你梳罢。

表 2 指示使役文における述語 VP の構成状況

作品	VP	動詞	述語節			合計
			動詞述語節	把	給	
金氏	数量	25	249	74	20	368
	割合	6.8%	67.7%	20.1%	5.4%	100%
《兒女》	数量	47	342	26	24	439
	割合	10.7%	77.9%	5.9%	5.5%	100%

指示使役文において、VP の種類が豊富で、両書共に動詞述語節の使用が最も多く、また、“把”と“給”が多数用いられる。金氏教科書において、VP にあたる“把”の用例数は“給”の4倍であることに対して、《兒女英雄傳》の“把”と“給”の用例数がほぼ同じである。

2.2 誘発使役文

誘発使役文は“A+叫+B+VP”の構文で、被使役者Bに何らかの状態・変化・結果VPが生じる状況を使役者Aが引き起こすという事態を述べる構文である。

金氏教科書において、“叫”を誘発使役文に用いる用例は、全部で84例見られる。

① 使役者Aの構成

a. 人稱代名詞

金氏：例 72.依我說他們先別叫叫夫人知道。（《今古》十三郎）

例 73.您不知道，我是叫這件事把我鬧迷惑了。（《虎頭》）

《兒女》：例 74.你叫他從那裏知道你，又怎的配知道呢？

例 75.你也曉得後悔？我索性叫你大悔一悔。

b. 主語＋述語

金氏：例 76.我有甚麼本事叫人聽著不笑話麼。（《虎頭》）

《兒女》：例 77.大妹子，你可不許借着這事叫我們姑娘受委屈。

c. 名詞フレーズ

金氏：例 78.幾句拙言叫衆位見笑。（《播神》-9）

例 79.這個理真叫人難明白。（《便覽》-83）

《兒女》：例 80.你，你，你，你這人叫我走到那裏去？

d. 使役者 A の省略

金氏：例 81.叫嚴府知道，那可不是頑兒的。（《今古》沈小霞）

例 82.叫掌櫃的能知道自己有多大本領。（《華言》-20）

《兒女》：例 83.果然如此，好叫人不得明白。

例 84.叫人家大爺臉上怎么拉得下來呢？

e. 指示代名詞

金氏：例 85.這豈不是叫我難為情麼。（《播神》-8）

例 86.這實在無故的叫您分心受累。（《虎頭》）

《兒女》：例 87.這可真叫人問得怪躁的！

例 88.你說這可不是叫人没法兒的事嗎？

f. 動詞＋目的語

金氏：例 89.據令親說印度這幾年不但種茶，而且能用機器叫茶葉變出好滋味兒來。（《談論》-93）

② 被使役者 B の構成

a. 人稱代名詞

金氏：例 90.這豈不是叫我難為情麼。（《播神》-8）

例 91.不忍叫他受這樣兒的冤枉。（《今古》懷私怨）

《兒女》：例 92.姐姐，你叫我怎樣個說法？

例 93.你們可看着些，莫要錯過去，叫他們空跑一蕩。

b. 名詞

金氏：例 94.不可以有一點兒錯悞，叫人家犯疑。（《華言》-20）

例 95.說出話來又要叫買主兒喜歡。（《華言》-20）

《兒女》：例 96.姐姐不信，不耐煩，不往下听了么，可叫公公有甚么法呢！

例 97.今日老翁自然要有些奖赏，才好叫学生益知勉学。

c. 名詞フレーズ

金氏：例 98.就叫那有钱的人把偁們看輕了。（《虎頭》）

例 99.叫我們沈家不至於絕後。（《今古》沈小霞）

《兒女》：例 100.就这样撂下走了，叫你们两家四个无依无靠的人怎么处？

例 101.也叫我那老妈安乐几日，再不当这强盗了！

表 3 誘発使役文における使役者 A と被使役者 B の構成状況

作品	使役者	非省略						省略	合計
		名詞	名詞フレーズ	人称代名詞	指示代名詞	主+述	動+目		
金氏	使役者 A	0	7	2	2	1	1	71	84
	被使役者 B	40	34	11	0	0	0	0	
《兒女》	使役者 A	1	2	15	2	1	0	98	137
	被使役者 B	40	25	62	0	0	0	0	

誘発使役文において、両書共に使役者 A を省略する用例が多く、それぞれ全体の約 8 割を占める。逆に、使役者 A より被使役者 B を省略する用例がどちらも見当たらない。その理由は誘発使役文が被使役者 B に何らかの状態・変化・結果 VP が生じる状況を使役者 A が引き起こすという事態を述べる構文であり、状態・変化・結果に当たる被使役者 B が省略されると、文の意味が不明確になる可能性があるからである。

また、金氏教科書において、使役者 A に名詞が用いられている用例が一番多く、被使役者 B に名詞フレーズが用いられている用例が一番多い。《兒女英雄傳》において、使役者 A と被使役者 B のどちらも人称代名詞が最も用いられている。尚、被使役者 B にあたる主体が 3 類であるのに比べ、両書共に使役者 A にあたる主体の種類が多く、どちらも 5 類ある。

使役者 A について、金氏教科書に無生命の用例が 3 例しか見られないが、《兒女英雄傳》には 15 例見られる。

金氏：例 102.這個理真叫人難明白。（《便覽》-83）

例 103.這豈不是叫我難為情麼。（《搢紳》-8）

例 104.這實在無故的叫您分心受累。（《虎頭》）

《兒女》：例 105.這句話却叫他怎的个答应法？

例 106.這可真叫人問得怪躁的！

例 107.今日這一天的悶葫蘆可叫人怎么打呀！

例 108.這事叫人怎生耐得！

例 109.這話說來真真叫人怒发冲冠，泪珠满面！



例 110. 这大米饭老天可不是叫人白吃的。

例 111. 他那贴身儿的事情可叫我怎么好哇？

例 112. 姑娘你这番救命恩情叫他何处答报？

被使役者 B について、両書どちらも名詞・名詞フレーズ・人称代名詞の 3 類だけ用いる。その中で、金氏教科書には無生命の用例が 4 例見られるが、《兒女英雄傳》には見られない。“嚴府”は命のない物だが、“～に属する人”を指しているため、生命度のある物とすべきである。

金氏：例 113. 遇見鬧天氣犯潮的的時候兒，該挪的挪，該晾的晾，總不要叫貨物受了潮濕。（《華言》-20）

例 114. 據那茶行的朋友說印度製茶是用機器，能叫那茶葉變滋味兒來。（《談論》-92）

例 115. 可是有機器還得仗着人工，那人工不在熟悉輪機，是在能叫茶葉變滋味兒。（《談論》-92）

例 116. 據令親說印度這幾年不但種茶，而且能用機器叫茶葉變出好滋味兒來。（《談論》-93）

例 117. 叫嚴府知道，那可不是頑兒的。（《今古》沈小霞）

### ③ 述語 VP の構成

#### a. 動詞

金氏：例 118. 怎麼能叫我不關心呢。（《摺紳》-21）

例 119. 幾句拙言叫衆位見笑。（《摺紳》-9）

《兒女》：例 120. 好叫你得知，就是你感激不尽的那两个驛夫。

例 121. 便是這樁事，也得叫我寨主知道。

#### b. 形容詞

金氏：例 122. 真叫人難受。（《談論》-62）

例 123. 說說話來又要叫買主兒喜歡。（《華言》-20）

《兒女》：例 124. 倘若不肯，我也不叫你过于为难。

例 125. 這話說來真真叫人怒发冲冠，泪珠满面！

#### c. 動詞+目的語

金氏：例 126. 叫你知道我的利害。（《今古》懷私怨）

例 127. 特意叫你檢着這麼一個元寶。（《華言》-25）

《兒女》：例 128. 不想他不愛這個好看兒，叫我有甚么法兒呢？

例 129. 老天怎麼也不可憐可憐你，叫你受這個樣兒的苦哟！

#### d. 動詞+補語

金氏：例 130. 這麼着小婦人就趕緊的出去把地方找來，叫他看明白了。（《華言》-27）

例 131. 性命可就結了，倘或叫人拿住了。（《今古》李汧公）

《兒女》：例 132. 便算了了我這生的事業，那時叫世人知我冰清玉潔，來去分明。

例 133. 只怕我這三間小小茆檐，任你闖得進來，叫你飛不出去！

e. 連動節

金氏：例 134.叫您分心受累。（《談論》-43）

例 135.何苦叫朋友疑惑我惱我。（《談論》-57）

《兒女》：例 136.好叫你上路趨程，早早的图一个父子团圆，人财无恙。

例 137.我吃上箸子就算开了斋了，还用叫姑爷、姑奶奶这么花钱费事？

f. 状語+中心語

金氏：例 138.這個理真叫人難明白。（《便覽》-83）

例 139.又得叫人一看，立刻就明白。（《談論》-54）

《兒女》：例 140.只是我安骛有数的七尺之躯，你叫我今世如何答报！

例 141.你也晓得后悔？我索性叫你大悔一悔。

g. 主語+述語

金氏：例 142.還管保叫他們連一個也跑不了。（《今古》李沂公）

例 143.如今可以一同把那兩口靈都帶回去，叫他們父子魂魄相依。（《今古》沈小巖）

《兒女》：例 144.舅太太这话是要叫姑娘心里过得去，无奈姑娘自己觉得脸上磨不开。

h. 「把」構文

金氏：例 145.在雲華寺廟裏避雨來着，叫這群強盜把我誑了去。（《今古》李沂公）

例 146.能叫人把行路的難處都忘了。（《談論》-40）

《兒女》：例 147.我只问你，我是个管作甚么儿的，怎么会叫你们把我的模样儿画了来了。

例 148.如今两个媳妇既这等求你向我说，我要苦苦的不给他，却叫他两个心里把我这个公公怎生战兢？

i. 「給」構文

金氏：例 149.就怕是叫窮給擠壞了。（《便覽》-51）

例 150.到底是寡不敵眾，叫人家給打躺下了好幾個人。（《今古》李沂公）

《兒女》：例 151.甚至不用另支使人，叫他自己就給他自己作成了。

表 4 誘発使役文における述語 VP の構成状況

作品	VP	動詞	形容詞	述語節				合計
				把	給	形容詞述語節	動詞述語節	
金氏	数量	5	3	4	2	0	70	84
	割合	5.9%	3.6%	4.8%	2.4%	0%	83.3%	100%
					90.5%			
《兒女》	数量	4	5	2	1	1	124	137
	割合	2.9%	3.7%	1.5%	0.7%	0.7%	90.5%	100%
					93.4%			

誘発使役文に用いる VP は、両書共に形容詞の用例が見られる。これは誘発使役文ならではの使い方となり、指示使役文と許容使役文には用いられない。最も用例数が多い VP は動詞述語であり、金氏教科書では 8 割以上を占めており、《兒女英雄傳》では 9 割を占めている。

誘発使役文において、《兒女英雄傳》には“好叫……”が用いる用例が 12 例あり、金氏教科書には見られない。

例 152. 好叫人无从猜度。

例 153. 好叫老爷得知，俩媳妇儿都有了喜了。

例 154. 管取他一片雄心侠气立地化成宛转柔肠，好叫他向那快活场中安身立命也！

例 155. 更仿佛是我想着他才把他配合他，好叫他周旋我。

例 156. 这日正遇无事，便要当面嘱咐他一番，再给他定出个功课来，好叫他依课程功准备来年乡试。

“讓”構文の誘発使役文において、《兒女英雄傳》に“好讓……”を用いる用例が 12 例見られ、“讓”構文の誘発使役文の 5 割を占めていることに対して、金氏教科書では見られない。

### 2.3 許容使役文

許容使役文は“A+叫+B+VP”の構文で、被使役者 B がある動作・行為 VP を遂行することを使役者 A が許容する、ないしは放任するという事態を述べる構文である。

金氏教科書において、“叫”を許容使役文に用いている用例は、全部で 21 例見られ、《兒女英雄傳》においては、7 例見られる。それぞれの全用例を以下に示す。

金氏：例 157. 所以他不叫他們跟進去。（《今古》李沂公）

例 158. 可以叫他去要這個銀子。（《今古》沈小韻）

例 159. 他不叫我進去。（《華言》-23）

例 160. 小的不叫他進去。（《華言》-23）

例 161. 求太爺把這個元寶叫小的領去罷。（《華言》-25）

例 162. 叫他可以拿這個錢去置幾畝地。（《華言》-27）

例 163. 可就攔他，不叫他去。（《華言》-30）

例 164. 等家父同心來，叫兄弟可以領收。（《摺紳》-8）

例 165. 他媳婦兒攔他不叫他去。（《華言》-17）

例 166. 那件事，通國的人，沒不知道的，能握得住誰的嘴，不叫傳說呢。（《便覽》-97）

例 167. 知縣就吩咐叫他們回家去罷。（《今古》懷私怨）

例 168. 可就直擺手兒，不叫大家嚷他。（《今古》十三郎）

例 169. 不叫他下去救去。（《華言》-17）

例 170. 不叫你外頭告訴人說。（《華言》-27）

例 171. 小的的主人不叫小的在客廳裡伺候着。（《華言》-27）

例 172. 可又不能不叫他們快收的。（《談論》-68）

例 173. 地方官怎麼敢違叫他們開賭呢。（《談論》-68）

例 174.萬不可以叫他們隨便在外散居。（《播紳》-36）

例 175.每年不過叫他坐食俸祿而已。（《播紳》-45）

例 176.不能叫他空出去。（《華言》-20）

例 177.為甚麼房德不叫那些個底下人們跟進去呢。（《今古》李沂公）

《兒女》：例 178.一个玉格要上淮安，就没把我急坏了，叫他去，又不放心。

例 179.不叫他去，又怕他愁出个病来。

例 180.到了第二年，他留了头了，连个溺盆子都不肯叫他拿。

例 181.甚至洗个脚都不叫他在跟前。

例 182.岂有不叫他们一处之理！自然两个人就在他那屋里分东西间住。

例 183.赶到过来，难道不叫他三口儿一处住吗？

例 184.不想闯了个没对儿的姑娘，才听得一声锣响，唬了个两手冰凉，只叫娘拉着。

表 5 許容使役文における使役者 A と被使役者 B の構成状況

作品	使役者	非省略			省略	合計
		名詞	名詞フレーズ	人称代名詞		
金氏	使役者 A	5	1	2	13	21
	被使役者 B	4	1	15	1	
《兒女》	使役者 A	0	0	0	7	7
	被使役者 B	1	1	5	0	

許容使役文において、《兒女英雄傳》は全て使役者 A が省略される用例であったが、金氏教科書は 13 例あり、全 21 例の 6 割を占める。金氏教科書は使役者 A と被使役者 B の両方が省略される用例が 1 つ見られる。また、両書においては、使役者 A と被使役者 B のどちらも無生命の用例がない。さらに、被使役者 B の使用では、両書共に人称代名詞を使用する頻度が高いことがわかる。

表 6 許容使役文における述語 VP の構成状況

作品	VP	動詞	述語節		合計
			名詞述語節	動詞述語節	
金氏	数量	3	0	18	21
	割合	14.3%	0%	85.7%	100%
《兒女》	数量	3	1	3	7
	割合	42.9%	14.2%	42.9%	100%

許容使役文において、VPの種類が少なく、両書共に“把”構文と“給”が用いられる用例が見当たらない。《兒女英雄傳》には名詞フレーズがVPに来る用例が1つ見られる。後の文脈を確認すると、この用例は“一處之理”の前の動詞“住”が省略されたことがわかる。

例 185. 豈有不叫他们一處之理！自然两个人就在他那屋里分东西间住。

### 3 受身表現

太田辰夫『中国語歴史文法』（1958：248）は、「被動の《教》は唐代より、また被動の《叫》は清代から用いられた。」と指摘している。

受身文は“A+叫+B+VP”の構文で、主語に立つ受動者Aが行為者Bによって影響を受け、何らかの状態・変化・結果Cが生じたという事態を述べる構文である。

金氏教科書において、“叫”を受身文に用いている用例は、全部で57例見られる。また《兒女英雄傳》においては、10例見られる。

#### ①受動者Aの構成

##### a. 人称代名詞

金氏：例 186. 恐怕他是真叫人害了。（《華言》-30）

例 187. 小的也不知道他是叫雨隔在甚麼地方了。（《華言》-30）

《兒女》：例 188. 方才他老人家要在跟前儿，到底也知道我是叫人逼的没法儿了。

例 189. 是呀，真真的，我也是叫你们唬糊涂了！

##### b. 名詞

金氏：例 190. 他聽見說房德叫人殺了。（《今古》李沂公）

例 191. 首飾全叫人搶了去了。（《今古》十三郎）

《兒女》：例 192. 连姐姐都叫人家娶了来了，姐姐也是一年之久直到今日才知道哇！

##### c. 名詞フレーズ

金氏：例 193. 他的臉叫熊銜了去了。（《撮要》-3）

例 194. 你的丈夫是叫一個趕驢的王牛子害了。（《華言》-24）

《兒女》：例 195. 其实这二位都算叫人家装在鼓里了！

##### d. 数量詞

金氏：例 196. 内中有一个叫火槍打死了。（《華言》-26）

##### e. 省略

金氏：例 197. 一定是去年沒叫人打死。（《今古》懷私怨）

例 198. 叫一個粮船上的水手搶了去了。（《華言》-26）

《兒女》：例 199. 公子断没想到从城里头憋了这么个好灯虎儿来，一进门就叫人家给了！

#### ②行為者Bの構成

##### a. 人称代名詞

金氏：例 200.全都叫他買了去了。（《便覽》-85）

例 201.把我的帽子藏起來，別叫他搶了去。（《今古》十三郎）

《兒女》：例 202.我們費了不是容易的事，把姑娘請來，算叫你搶了去了。

例 203.亏是有个对证在跟前儿，不然叫你这一掰文儿，倒像我这里照着说评书也似的，现抓了这么句话造谣言呢。

b. 名詞

金氏：例 204.小的就聽見說有一個水手是叫火槍打死了。（《華言》-26）

例 205.成天家打雁，叫雁碼了眼了。（《撮要》-16）

《兒女》：例 206.不想這着棋可又叫安老爺先料着了！

例 207.連你那拉青屎的根子都叫人抖翻出來了，別的还有甚么怕說的！

c. 名詞フレーズ

金氏：例 208.像私貨叫海關上搜出來，不過加幾倍罰銀子。（《談論》-14）

例 209.纔知道是叫那個小孩子把他算計了。（《今古》十三郎）

《兒女》：例 210.公子，你我今日相逢，三生有幸！只是叫礼字儿管住了我們。

表 7 受身表現における受動者 A と行為者 B の構成状況

作品	受動者行為者	非省略			数量詞	省略	合計
		名詞	名詞フレーズ	人称代名詞			
金氏	受動者 A	7	8	3	1	38	57
	行為者 B	41	6	10	0	0	
《兒女》	受動者 A	1	3	2	0	4	10
	行為者 B	6	1	3	0	0	

受身表現において、金氏教科書では受動者 A が省略される用例が多く、全用例の 6 割以上を占める。一方、《兒女英雄傳》は受動者 A が省略される用例が全用例の 4 割を占める。両書共に行為者 B が省略される用例は見当たらない。さらに、行為者 B の使用では、両書共に名詞を使用する頻度が高いことがわかる。

受動者 A について、金氏教科書は無生命の用例が 3 例見られ、《兒女英雄傳》は 2 例見られる。“一個”は“1 人”にあたり、生命度のある物とすべきである。

金氏：例 211.他那件舊夏布大褂兒叫涼風兒一吹，颼颼的響。（《今古》李沂公）

例 212.首飾全叫人搶了去了。（《今古》十三郎）

例 213.像私貨叫海關上搜出來，不過加幾倍罰銀子。（《談論》-14）

例 214.內中有一個叫火槍打死了。（《華言》-26）

《兒女》：例 215.不想這着棋可又叫安老爺先料着了！

例 216.連你那拉青屎的根子都叫人抖翻出來了，別的还有甚么怕說的！

行為者 B について、《兒女英雄傳》では無生命の用例は見当たらないが、金氏教科書では動物の用例が 2 つあり、無生命の用例が 8 例見られる。“海關上”、“關上”、“天棧棧”は命のない語彙だが、“～に属する人”を指しているため、生命度のある物とすべきである。

例 217.他的臉叫能話了去了。(《撮要》-3)

例 218.成天家打雁，叫雁碼了眼了。(《撮要》-16)

例 219.内中有一個叫火槍打死了。(《華言》-26)

例 220.小的就聽見說有一個水手是叫火槍打死了。(《華言》-26)

例 221.小的也不知道他是叫雨隔在甚麼地方了。(《華言》-30)

例 222.那個時候大家都當是叫火燒死的了。(《今古》李沂公)

例 223.不知道又叫甚麼事情絆住了。(《便覽》-43)

例 224.沒想到叫事情絆住了。(《便覽》-4)

例 225.就怕叫窟給擠壞了。(《便覽》-51)

例 226.他那件舊夏布大褂兒叫涼風兒一吹，颼颼的響。(《今古》李沂公)

例 227.叫關上查出來，可是累贅。(《便覽》-13)

例 228.叫關上查出來，是要罰我們的。(《談論》-13)

例 229.若是私自裝運軍火來，叫海關上查出來，船貨一併入官的。(《談論》-60)

例 230.像私貨叫海關上搜出來，不過加幾倍罰銀子。(《談論》-14)

例 231.河裏通共有四五十隻船，全叫天棧棧雇了去了。(《談論》-90)

### ③ 述語 C の構成

#### a. 動詞

金氏：例 232.傳出去叫人恥笑。(《今古》李沂公)

#### b. 動詞+目的語

金氏：例 233.倘或叫人聽見這話。(《今古》李沂公)

例 234.成天家打雁，叫雁碼了眼了。(《撮要》-16)

《兒女》：例 235.公子，你我今日相逢，三生有幸！只是叫礼字儿管住了我們。

#### c. 動詞+補語

金氏：例 236.全都叫他買了去了。(《便覽》-85)

例 237.叫關上查出來，是要罰我們的。(《談論》-13)

《兒女》：例 238.是呀，真真的，我也是叫你們唬糊塗了！

例 239.不想這着棋可又叫安老爷先料着了！

#### d. 狀語+中心語

金氏：例 240.他那件舊夏布大褂兒叫涼風兒一吹，颼颼的響。(《今古》李沂公)

#### e. “給”

金氏：例 241.若不是我腿快，也就叫人給拿住了。(《今古》十三郎)

例 242.又叫解差在路上給謀害了。(《今古》沈小霞)

《兒女》：例 243.公子断没想到从城里头憋了这么个好灯虎儿来，一进门就叫人家给揭了！

表 8 受身表現における述語 VP の構成状況

作品	VP	動詞	述語節		合計
			動詞述語節	給	
金氏	数量	1	48	8	57
	割合	1.8%	84.2%	14.0%	100%
《兒女》	数量	0	9	1	10
	割合	0%	90%	10%	100%

受身表現において、両書共に VP が動詞述語節にあたる用例が極めて高く、それぞれの全用例の 8 割以上を占める。両書共に“把”構文が用いられず、“給”が用いられている。金氏教科書には動詞が VP に来る用例が 1 つ見られる。

#### 4 まとめ

本論文は金氏教科書と《兒女英雄傳》に用いられている“叫”構文を対象を絞って考察を行った。そして両書において、“叫”は使役義・誘発義・許容義・受身義の 4 類に用いられていることを明らかにした。各義は文型によって、それぞれの使用状況が異なり、以下のような事実を指摘した。

表 9 両書における 4 類義の“叫”構文使用状況

項目	指示義	誘発義	許容義	受身義	合計
金氏	368	84	21	57	530
割合	69.4%	15.8%	4.0%	10.8%	100%
《兒女》	439	137	7	10	593
割合	74.0%	23.1%	1.2%	1.7%	100%

《兒女英雄傳》の文字数は約 60 万字ある。筆者の統計によると、全 11 冊の金氏教科書の文字数は約 28 万字で、約《兒女英雄傳》の半分の文字数である。それぞれの全書において、《兒女英雄傳》より、金氏教科書の方が“叫”構文を用いる頻度が高い。また、両書の“叫”構文において、最も用いるのが指示義であり、誘発義がその次になる。どちらも使用上には偏りが見られるが、《兒女英雄傳》の方がその差が激しいことがわかる。



表 10 4 類義における使役者/受動者 A と被使役者/行為者 B が無生命にあたる使用状況

作品	指示義		誘発義		許容義		受身義	
	A	B	A	B	A	B	A	B
金氏	-	-	+	+	-	-	+	+
《兒女》	-	-	+	-	-	-	+	-

上の表から、《兒女英雄傳》より、金氏教科書では“叫”構文の使役者/受動者 A と被使役者/行為者 B にあたる無生命の使用範囲が広く、誘発義と受身義にあたる使役者/受動者 A と被使役者/行為者 B の両方に用いることが可能であることがわかる。しかし、《兒女英雄傳》では誘発義と受身義にあたる使役者/受動者 A しか用いられない。したがって、金氏教科書において、“叫”構文の使用が《兒女英雄傳》より活発であると考えられる。

#### 研究資料

- 金國璞 平岩道知 1898 《北京官話：談論新編》 文求堂書店  
 金國璞 1901 《士商叢談便覽》上巻 文求堂書店  
 金國璞 1902 《士商叢談便覽》下巻 文求堂書店  
 金國璞、吳泰寿 1903 《支那交際往來公憤訓譯》 泰東同文局  
 金國璞 1903 《華言問答》 文求堂書店  
 金國璞 諸岡三郎編 1903 《虎頭蛇尾》 諸岡三郎  
 吳昌太 鄭永邦著 金國璞改訂 1903 《改訂官話指南》（第一卷） 文求堂書店  
 金國璞 1904 《北京官話：今古奇觀第一編》 文求堂書店  
 金國璞 鎌田弥助 1907 《摺紳談論新集》 文求堂書店  
 金國璞 瀬上恕治 1907 《華言分類撮要》 文求堂書店  
 金國璞 1911 《北京官話：今古奇觀第二編》 文求堂書店

#### 参考文献

- 太田辰夫 1958 『中国語歴史文法』 江南書院  
 丁声树 1999 《現代漢語語法講話》 商務印書館  
 木村英樹 2000 「中国語ヴォイスの構造化とカテゴリー化」 『中国語学』第 247 号  
 郭姝慧 2004 《現代漢語致使句研究》 北京語言大學 博士論文  
 朱德熙 2009 《語法講義》 商務印書館  
 卢小群 2017 《老北京土話語法研究》 中國社會科學出版社